

表1 授乳中の母親への与薬

授乳禁忌のもの
抗癌剤(代謝拮抗薬) 放射性物質(一時的に授乳をやめる)
母乳を続けるべきもの
副作用の可能性のあるもの；赤ちゃんの異常な傾眠傾向や、哺乳意欲減退、黄疸について監視します。 向精神薬と抗痙攣薬 バルビツレート(プリミドンを含む)とジアゼパムの反復投与を避けましょう。
少ないが副作用の危険のあるもの；可能なら別の薬を使いましょう。 スルホンアミド(特に赤ちゃんに黄疸のある場合) クロラムフェニコール、テトラサイクリン
母乳の分泌を減らす可能性のあるもの；別の薬を使いましょう。 エストロゲン(エストロゲンの入った避妊薬を含む) サイアザイド系利尿薬
通常量で安全なもの
鎮痛薬：パラセタモール(アセトアミノフェン)、アセチルサリチル酸、イブプロフェンの短期間の使用 モルヒネ、ペチジンの時たまの使用 抗生物質：ペニシリン、アンピシリン、クロキサシリンとその関連薬、エリスロマイシン 抗ヒスタミン薬、制酸薬、ジゴキシン、インスリン、気管支拡張薬(例：サルブタモール)、副腎皮質ステロイド薬、抗寄生虫薬、クロロキン(注：マラリア、膠原病などに用いる)、抗結核薬、抗らい病薬 鉄、ヨード、ビタミンの栄養補給剤